



清水丘小学校



(令和7年5月1日現在)

所在地	〒558-0033 住吉区清水丘2-9-41		
電話	06-6673-1101・1102	FAX	06-6673-1019
URL	http://swa.city-osaka.ed.jp/swas/index.php?id=e731666		
校長名	岩崎 哲		
児童数	532名	教職員数	52名
学級数	24学級（うち特別支援学級6）	集団登下校	なし
標準服	なし		

教育目標

自ら学ぶ態度や心豊かに
たくましく生きる力を育む教育を推進する。

目指す子ども像

なかよくする子 考え伝えあう子 元気な子

校長メッセージ

清水丘小学校は、住吉区の西南部、清水丘1丁目から3丁目を中心とした地域にある学校です。校訓「強く・正しく・美しく」のもと、仲間を大切にし、基礎的・基本的学力の育成を図ることをめざして教育活動を進めています。特に高学年児童の自発的・自律的な気風が強く、低学年児童も交えた児童会活動もさかんです。地域の方々のご協力のもと行う生活科や社会科の学習も活発に行っています。

学校協議会会長メッセージ

清水丘小学校学校協議会は、保護者や地域の皆様にこれまでと同様、学校に関心を持っていただけるよう、先生方といっしょにさまざまな面から検討を行っています。学校の教育活動や地域・PTA・学校との連携、地域独自の教育活動等、それぞれについてふり返りを行い、よりよい清水丘小学校にできるよう努めています。児童の健全育成に向けて、今後とも皆様のご支援、ご協力をよろしくお願いします。

▶▶ 運営に関する計画

年度目標

【安全・安心な教育の推進】

- 令和7年度2回目児童アンケートにおいて「毎日学校に行くのが楽しい」の項目について、肯定的回答をする児童の割合を前年度(86.8%)より1ポイント以上上げる。
- 令和7年度2回目児童アンケートにおいて「いじめはどんな理由があってもいけないことだ」の項目について肯定的回答をする児童の割合を前年度(94.7%)より1ポイント以上上げる。
- 令和7年度2回目児童アンケートにおいて、「学校のきまりや約束を守っていますか」の項目について、肯定的回答をする児童の割合を前年度(92.9%)より1ポイント以上上げる。

【未来を切り拓く学力・体力の向上】

- 令和7年度2回目の児童アンケートにおいて、「学級の友達との間で話し合う活動を通じて、自分の考えを深めたり、広げたりすることができていますか」に対して、最も肯定的な「思う」と回答する児童の割合を前年度(48.3%)より1ポイント以上上げる。
- 令和7年度2回目の児童アンケートにおいて「運動やスポーツをすることは好きですか」に対して最も肯定的な「好き」と回答する児童の割合を前年度(64.1%)より1ポイント以上上げる。

【学びを支える教育環境の充実】

- 令和7年度2回目の児童アンケートにおいて、「タブレット端末を使った授業はおもしろい」の項目について、肯定的な回答をした児童の割合を前年度(94.1%)より向上させる。
- 第2期「学校園における働き方改革推進プラン」に掲げる教員の勤務時間の上限に関する基準1を満たす教職員の割合を65%以上にする。

学校行事

1学期

- 4月 入学式、始業式、1年生を迎える会、避難訓練・保護者引取訓練、家庭訪問
- 5月 春の遠足、新体力テスト、学習参観・懇談会、交通安全指導
- 6月 学習参観、プール開き、フレンド集会、一泊移住5年生（淡輪大阪府立青少年海洋センター）
- 7月 懇談会、終業式、夏季休業、プール納め

2学期

- 8月 夏季休業、始業式
- 9月 避難訓練、学習参観・懇談会、学校選択説明会
- 10月 運動会（学校公開）、秋の遠足、就学時健康診断
- 11月 修学旅行6年（志摩）、交通安全指導、清水丘フェスティバル、学習展示会
- 12月 懇談会、終業式、冬季休業、防災デー

3学期

- 1月 冬季休業、始業式、避難訓練、耐寒なわとび、給食週間
- 2月 耐寒かけ足、入学説明会、学習参観・懇談会、クラブ発表会・展示会、学習参観
- 3月 6年生を送る会、卒業式、修了式、春季休業

入学式



フレンド集会
(児童集会)



運動会での演技



卒業式



▶▶ 令和6年度全国学力・学習状況調査の結果から明らかになった現状（調査対象：令和6年度の小学6年生）

【平均正答率（％）】	国語	算数
	64	56

国語科の平均正答率は、大阪市平均を2ポイント、全国平均を3.7ポイント下回った。観点別にみると、「言葉の特徴や使い方に関する事項」「情報の扱いに関する事項」「読むこと」に関しては、全国平均を上回れなかったものの、大阪市平均とはほぼ同じ、若しくは少し上回る結果となった。「話すこと・聞くこと」「書くこと」に関しては大阪市平均をそれぞれ5.7ポイント、6.8ポイント下回る結果となった。言葉と特徴や使い方については定着している。情報の扱い方に関する事項についても、力が定着してきているといえる。また「読むこと」に関して、しっかりと内容を理解し、作者や筆者の思いを受け止めることができるようになってきている。しかし、「話すこと・聞くこと」「書くこと」に関しては特に力をつける必要がある。日頃から集中して話を聞き、内容を正確に聞き取ったり、順序だてて話したりする機会を増やす必要がある。また、自分の考えや理由を明確にしながらいったり、文章の要約を書いたりする力も高めていく必要がある。

算数科の平均正答率は、大阪市平均を6ポイント、全国平均を7.4ポイント下回った。領域別の正答率を見ると、「数と計算領域」では6.3ポイント、「図形」領域では5.5ポイント、「変化と関係」の領域では10.6ポイント、「データの活用」領域では3.6ポイント下回った。「図形」領域では、単に形や面積を求める公式を覚えるのではなく、その性質や特徴、構成要素を読み取り、多面的に図形を認識する力を高める必要がある。「変化と関係」の領域では、2つの数量の関係をしっかりと見極め、それを活用する力を高めていく必要がある。2つの数量の関係を、しっかりと自分の言葉で説明できることが大切である。「データの活用」の領域では、グラフを単に読み取るだけでなく、そのグラフの表す意味や、そのグラフからわかることをしっかりと読み取る力を高めていく必要がある。

▶▶ 令和6年度全国体力・運動能力、運動習慣等調査の結果（調査対象：令和6年度の小学5年生）

【種目別平均値】

項目	握力(kg)	上体起こし(回数)	長座体前屈(cm)	反復横跳び(回数)	20mシャトルラン(回数)	50m走(秒)	立ち幅とび(cm)	ボール投げ(m)	体力合計点(点)
男子	15.14	19.49	32.76	40.86	52.61	9.32	143.55	21.53	52.15
女子	14.39	17.38	35.26	36.00	30.10	10.05	125.91	13.86	49.68

男子においては、上体起こし、反復横跳び、20mシャトルラン、50m走、ソフトボール投げの5項目において、大阪市平均値、全国平均値を上回る好結果となった。体力合計点においても全国平均には0.4ポイント近く届かなかったものの、大阪市平均は1ポイント上回る結果となった。女子においては、ソフトボール投げの1項目において、全校平均・大阪市平均を上回った。体力合計点においては、全国平均より4ポイント、大阪市平均より3ポイント下回る結果となった。質問項目「運動やスポーツをすることは好きですか。」においては、男子の98.0%、女子の89.8%が「好き」「やや好き」と肯定的回答をしており、全校平均・大阪市平均よりも多い割合であることが分かった。また、1週間の総運動時間の調査においては、「総運動時間が60分未満の児童の割合」が男子は4.2%、女子が16.6%であり、運動をよくしている児童と、運動をしない児童との差が大きいことがわかった。体を動かすことが好きになるよう、休み時間には元気に運動場で遊ぶように声掛けをしたり、クラスでみんな遊びの時間を設けたりするなど、全校あげて「体を動かすこと」に取り組んできた。大なわ大会やマラソン大会を学年で取り組んだりかけ足習慣やなわとび習慣を全校で実施したりするなど、子どもたちが楽しく意欲的に参加できるように工夫しながら体力・運動能力向上に努めてきた。最近では、休み時間などに外で元気に遊ぶ姿が見られたり、放課後学校に残って思いっきり友達と体を動かして遊ぶ児童が増えたりもしている。ただし、まだまだ運動が好きな児童とそうでない児童との差が激しく、二極化の傾向がみられる。休み時間に教室で過ごしていたり、体育の学習に意欲的に参加していない児童がまだまだいたりする。子どもたちが「体を動かすことが楽しい」と思えるような取組を継続していくとともに、子どもたちが「やってみよう」「楽しそう」と思えるような活動を、今後も増やしていくようにする。さらには、子どもたちが意欲的に参加できるよう体育の学習における研修を教職員全員で深め、楽しい体育の学習の授業展開を目指す。また、学習中のICT活用も活発にし、主体的に学習が進められるように意識していく。